

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報

2025/9/29

～

2025/10/5

発 令 中 の 注 意 報	県 全 体	〈警報〉	なし	〈注意報〉	インフルエンザ
	各 保 健 所	警報	中部保健所：伝染性紅斑 北 部 保 健 所 ： 流行性角結膜炎 那 覇 市 保 健 所 ： 伝染性紅斑 南 部 保 健 所 ： 伝染性紅斑、流行性角結膜炎		
		注意報	中部保健所：インフルエンザ、水痘		

『伝染性紅斑（リンゴ病）』【警報発令中】

○感染経路：飛沫感染、接触感染

頬に発しんが出現する7～10日くらい前に、微熱やかぜのような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。

○主な症状：

約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん（紅斑）が現れます。続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、これらの発しんは1週間程度で消失します。

○感染対策：手洗い、マスク着用などの咳エチケットの実施

紅斑が出ている時期にはほとんど感染力がないため、かぜ症状のある人はこまめな手洗いや、せきやくしゃみをする時には口と鼻をハンカチ等でおおうなどの「咳エチケット」を心がけることが大切です。

*詳しくは[こちら](#)をご覧ください

『インフルエンザ』に気を付けましょう【注意報発令中】

○インフルエンザ

の感染予防策

○体調不良時には

① かかりつけ医にまず相談し、事前予約の上受診しましょう（救急医療をつぶさない）。

検査・受診のご相談は #7119 へ。

② 「マスク」を着用し、咳やくしゃみをする時は「咳エチケット」を守りましょう。

③ 重症化リスクのある方と会う際は、特に体調に応じた感染対策をしましょう。



■ 感染症の発生動向 1 類～5 類（全数把握）

		県全体	うち中部
1 類	なし		
2 類	結核	5	2
3 類	なし		
4 類	レプトスピラ症	3	1
5 類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0
	梅毒	3	1
	播種性クリプトコックス症	1	0
	百日咳	4	1

■ 感染症の定点当たり報告数

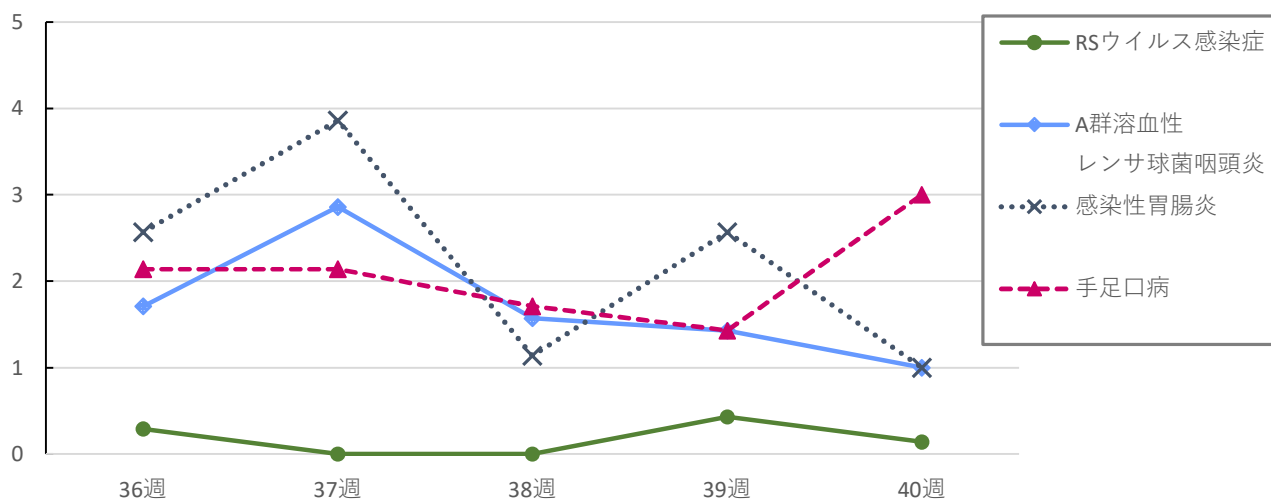
※直近 5 週間で報告された感染症のみ

	36週		37週		38週		39週		40週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	6.15	3.16	10.92	4.93	14.77	7.11	15.85	8.98	25.85	12.18
RSウイルス感染症	0.29	0.24	0	0.12	0	0.32	0.43	0.48	0.14	0.2
咽頭結膜熱	0.86	0.92	1.43	0.76	0.86	0.44	0.71	0.44	0.57	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.71	1.28	2.86	1.68	1.57	0.8	1.43	1.2	1	0.84
感染性胃腸炎	2.57	4.28	3.86	4.72	1.14	3.16	2.57	3.6	1	3.16
水痘	0.29	0.2	0.71	0.32	0.71	0.4	0.71	0.28	1.14	0.36
手足口病	2.14	1.6	2.14	1.48	1.71	1.24	1.43	1.64	3	2.08
伝染性紅斑	3	1.52	2	1.72	2.14	1.52	1.43	1.68	1	0.88
突発性発疹	0.86	0.44	0.43	0.32	0.14	0.04	0	0.12	0.57	0.24
ヘルパンギーナ	0.43	0.44	0.29	0.32	0.43	0.2	0.43	0.44	0.29	0.36
流行性耳下腺炎	0	0.04	0	0	0	0	0	0	0.14	0.08
急性出血性結膜炎	0	0.11	0	0	0	0.11	0	0	0	0
流行性角結膜炎	4	5.11	2	2.78	5	5.89	1	4.33	3.5	5.44
無菌性髄膜炎	0.5	0.14	0	0	0	0.14	0.5	0.29	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0.14	0	0	0	0	0	0	0	0
COVID-19	5.31	5.49	5.46	4.84	4.08	4.76	3.31	5	4.62	3.93

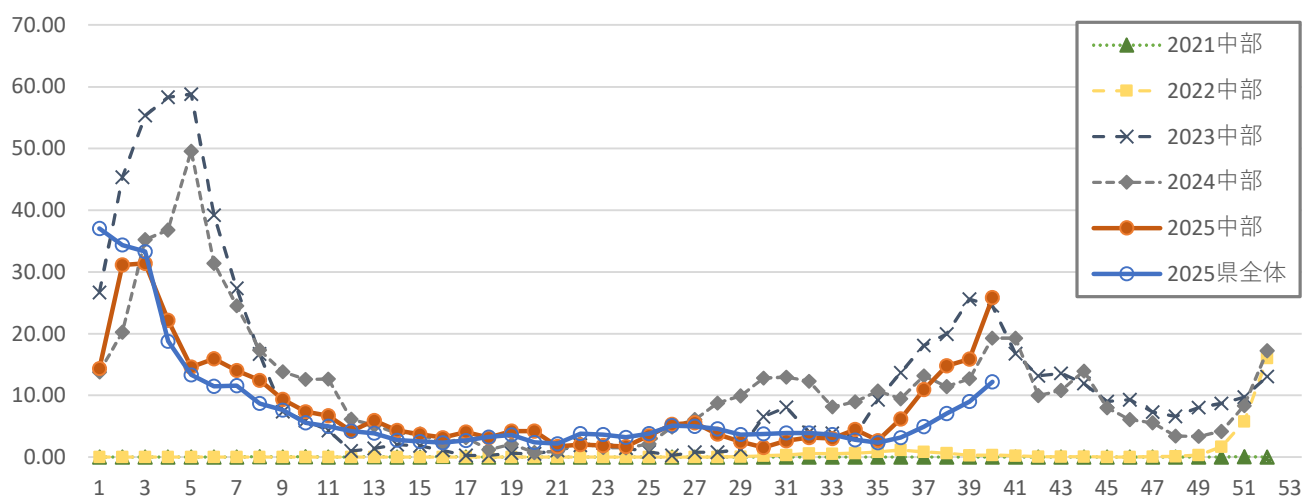
警報

注意報

■ 中部保健所管内の直近5週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■ インフルエンザの過去5年の発生動向



■ 新型コロナウイルス感染症

